



笹小だより

No. 8

平成30年11月30日
横浜市立笹野台小学校

「積み重ね」

校長 飯田 雅人

明日より師走。師走とは、誰もが年の瀬をひかえて何かと慌ただしくなる時期で、どっしり構えて読経する師僧までも走り回らなければと思わせるほど多忙な月であるとされています。世の中何かと慌ただしいのですが、子供たちが落ち着いて学校生活を送ることができるよう声掛けをしていきたいと思えます。

さて、私はこの4月から子供たちの様子を知るため、毎日できる限り多く、校舎内を見て回るようにしています。朝の会の時間に校舎内を回ると、あちらこちらの教室から子供たちの素敵な歌声がいつも聞こえてきます。このような日々の積み重ねがあってこそ、スクールコンサートで披露されたように、みんなできれいな歌声を響かせたり、素敵な合奏を演奏したりすることができるのだらうなと思っています。

先日は、こんなこともありました。給食の準備の時間にいつものように教室を回っていると、1年生の教室で、ある男の子が友達とけんかをしてしまったのか大泣きをしていました。すると近くにいた同じクラスの友達が「いつも元気な〇〇ちゃんが泣いているなんて、よっぽど悲しいだね。これあげるから元気出してね。」と自分が作って大事にしていたと思われる折り紙で作ったメダルを自分のお道具箱から出し、そっと渡していました。その様子を見て、入学当初は、自分のことだけで精一杯だった1年生も、4月から同じクラスの友達と日々過ごすことを通して、友達とのかかわりを少しずつ深め、友達のことを思いやることもできるようになってきたのだなと嬉しく思いました。

10月31日から11月1日には、個別支援級の子供たちと1泊2日で三浦に宿泊体験学習に行ってきました。子供たちには入村式で、「2日間、大いに楽しんでください。ただし、2日間友達と一緒に過ごしていると、楽しいことばかりでなく、自分が少しだけ我慢しなければいけない場面がきっと出てくると思います。その時に我慢できるかどうかは今回の宿泊体験学習の中でできる勉強です。」という話をしました。もちろんこれは、日頃の学校生活の中でも日々学んでいることです。笹野台小学校の子供たちは、上級生が上手にリードして、2日間をまるで家族のようにチームワークよく過ごすことができていました。これも日頃の子供たちのがんばりと指導の積み重ねがあったからでしょう。何事も一朝一夕にはいかないということは言うまでもありません。

さて12月を迎えるにあたり、この一年も、地域の皆様、保護者の皆様には、様々な面で学校教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。私も4月に着任して8か月が過ぎました。これからも今までの積み重ねを生かし、教職員一同、さらにかがやく笹小の子供たちのために尽力していきたいと思えます。心からお礼を申し上げます。よい年を迎えられますことをお祈りいたします。